

2025年4月入学・2025年10月入学

April 2025 Admission ・ October 2025 Admission



広島大学大学院スマートソサイエティ実践科学研究院
(博士課程前期)

学生募集要項

Graduate School of Innovation and Practice for Smart Society
(Master's Course)

Application Guidebook

- ◆ 外国人留学生特別選抜（国外在住者対象）
Special Selection for International Students
For Residents Outside Japan

2024年7月 July 2024



広島大学

Hiroshima University

スマートソサイエティ実践科学研究院（博士課程前期） アドミッション・ポリシー

大学院スマートソサイエティ実践科学研究院では、以下のような志や意欲を持ち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

- ① 人間や社会について広く関心を持ち、数理・データサイエンスや情報技術を活用して、学際的な学修を志す人
- ② Society 5.0の国際展開に関連する学際的研究を推進する意欲を有する人
- ③ スマートソサイエティ実践科学に関連する専門性を有し、Society 5.0を国際展開する職業に従事することを旨とする人
- ④ 幅広い教養と共に、工学、情報科学、農学、保健学、医科学、経済学に関連する学問領域における知識と研究能力を身に付け、多角的視点から「持続可能な発展を導く科学」の構築や地域及び国際社会の課題解決への熱意を有する人
- ⑤ 社会人としての良識や倫理観を身に付けた人

本研究院は、これらの人を受け入れるため、そのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、口述試験、外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施する。

取得できる学位

修士（学術）

Admission Policy of the Graduate School of Innovation and Practice for Smart Society (Master's Course)

The Graduate School of Innovation and Practice for Smart Society seeks students who have the following aspirations and motivation and have the basic academic abilities necessary for it:

1. With a wide interest in humans and societies who aspire to engage in interdisciplinary studies using mathematics, data science and information technology;
2. An ambition for the promotion of interdisciplinary research related to the international development of Society 5.0;
3. With expertise related to “Practical Science for Smart Society” and the will to be engaged in professions related to the international development of Society 5.0;
4. A zeal for establishing the “science for sustainable development” from a multifaceted perspective and for solving regional and international issues by acquiring knowledge and research skills for the academic areas related to engineering, information science, agriculture, health science, medical science, and economics as well as a wide range of intelligence; and
5. Common sense and ethics required for a member of society.

In order to admit such individuals, the Graduate School of Innovation and Practice for Smart Society selects applicants through a multifaceted and comprehensive evaluation process based on its own Diploma Policy and Curriculum Policy, using oral examinations and external examinations.

Diploma

The Graduate School offers a **Master of Philosophy** degree to those who have completed the Master's course.

広島大学志願者への入学検定料の免除措置について

広島大学では、被災者の経済的負担を軽減し、志願者の進学機会の確保を図るため、令和6(2024)年度に実施する本学の入学者選抜において、入学検定料の免除措置を実施することとしましたので、お知らせします。

入学検定料の免除を希望される方は、出願前に必ず以下の「8 問い合わせ先」までご連絡ください。

1 免除措置の対象となる入学者選抜

令和6(2024)年度に実施する本学の学部、大学院及び専攻科入試
(再入学、転学及び編入学に係る選考を含みます。)

2 措置内容

入学検定料の免除

※ 入学試験成績の開示に係る手数料も、免除の対象となります。

3 免除の対象となる災害

(1) 令和元(2019)年8月28日以降に災害救助法の適用を受けた災害

※ 入学検定料の免除の対象となる入学者選抜は、当該災害救助法適用日から5年を経過する日までの間に
出願期間の最終日が設定されているものに限り、ます。

4 免除の対象者

「3 免除の対象となる災害」において災害救助法が適用されている地域(注)で被災した志願者で、次のいずれかに該当する方

- (1) 主たる学資負担者が居住する自宅家屋が全壊、大規模半壊又は半壊した場合
- (2) 主たる学資負担者が死亡又は行方不明の場合

(注) 災害救助法適用地域等は、次の内閣府ホームページでご確認いただけます。

https://www.bousai.go.jp/taisaku/kyuujo/kyuujo_tekiyou.html

5 申請方法

事前に「8 問い合わせ先」に連絡した後、所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。
なお、この場合は、出願時に「入学検定料」を払い込まないでください。

6 申請書類

(1) 検定料免除申請書 (本学ホームページからダウンロード)

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyushi/news/1058>

(2) り災証明書 (写し可) (上記4の(1)に該当する方)

(3) 死亡又は行方不明を証明する書類 (写し可) (上記4の(2)に該当する方)



7 インターネット出願における入学検定料免除特例措置の手続方法

本学ホームページ掲載のPDFファイルを参照してください。

https://www.hiroshima-u.ac.jp/system/files/186130/menjo_r4_ver2.pdf

8 問い合わせ先

国際協力学系支援室

〒739-8529 東広島市鏡山一丁目5番1号

TEL : (082)424-4696

目次

- スマートソサイエティ実践科学研究院(博士課程前期)アドミッション・ポリシー
- 広島大学志願者への入学検定料の免除措置について

入試について

I. 募集人員	P1
II. 出願資格	P1
III. 出願手続	P2
IV. 入学者選抜方法等	P5
V. 入学手続	P5
特別教育プログラム	P12
研究助成金制度(SmaSo-X Challenge事業)	P14
教員一覧	P18

Table of Contents

- Admissions Policy of the Graduate School of Innovation and Practice for Smart Society (Master's Course)

Information on Entrance Examination

I. Number of Students to be Admitted	P6
II. Admission Requirements	P6
III. Application Procedure	P7
IV. Admission	P10
V. Enrollment Procedure	P11
Special Education Program	P15
Research grant for graduate students (SmaSo-X Challenge Project)	P17
List of Members	P18

(キャンパス内全面禁煙)
広島大学は、2020年1月からキャンパス内全面禁煙です。
(Towards a smoke-free campus)
Smoking has been prohibited entirely in all HU campuses from January, 2020.

広島大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人広島大学安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。それにより、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。
Hiroshima University has established the university's Rules on Security Export Control in accordance with the Foreign Exchange and Foreign Trade Act, and conducts strict examinations for acceptance of international students, etc. Therefore, please be advised that International applicants may be unable to receive their desired education or conduct their desired research due to the restriction by the above regulations.

I. 募集人員

本学生募集要項は、スマートソサイエティ実践科学研究院（博士課程前期）に関する試験日程、選抜方法等の詳細を掲載したものであり、本学生募集要項の選抜における募集人員は、下表の「募集人員」欄のとおりです。

2025年4月入学・2025年10月入学

スマートソサイエティ実践科学研究院（博士課程前期）

募集人員	問合せ先・出願書類提出先
4月入学：若干名 10月入学：若干名	〒739-8529 東広島市鏡山一丁目5番1号 国際協力学系支援室 TEL：(082)424-4696 E-mail: smart-society@office.hiroshima-u.ac.jp

II. 出願資格

- ◇出願の時点で、日本国外に在住する外国人で、次の各号のいずれかに該当するもの又は2025年3月31日若しくは2025年9月30日までに取得見込みのもの。
- ◇出願資格9又は10により出願しようとする者は、事前審査を行いますので「出願資格事前審査について」の項を参照してください。
 1. 日本の大学を卒業した者
 2. 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
 3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
 4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 5. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 6. 外国の大学その他の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
 7. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること）で文部科学大臣が別に指定したものを修了した者
 8. 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
 9. 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者で、その後に入学者となる本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 10. 本学大学院において、個別の入学資格審査により、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したものの

出願資格事前審査について

出願資格9又は10の志願者については、次のとおり事前審査を行います。

※事前審査の対象者は、国際協力学系支援室宛てE-mailにて申請書等の所定様式を請求してください。

1. 事前審査書類提出期間

2025年4月入学志願者：2025年9月30日から10月4日17時まで（日本標準時間、必着）

2025年10月入学志願者：2025年4月7日から4月11日17時まで（日本標準時間、必着）

2. 事前審査提出書類

◇各証明書は原本を提出してください。証明書が新たに発行されない場合は、原本証明（原本と同じであると公的機関（発行機関が望ましい）が証明した写し(Certified Copy))を認めます。

◇提出書類に虚偽の記載や詐称があることが判明した場合は、合格・入学を取り消します。

出願資格	提出書類	提出方法
出願資格9	① 事前審査申請書（所定様式を使用） ② 履歴書（所定様式を使用） ③ 学業成績証明書（学部及び大学院の両方） ④ 大学院の在学証明書又は修了証明書	①・② →データ（Word）をE-mail ③・④ →スキャンデータ（PDF）をE-mailで送付後、原本を郵送
出願資格10 （注）	① 事前審査申請書（所定様式を使用） ② 履歴書（所定様式を使用） ③ 大学を卒業した者と同等の学力を有することを示す本人による説明書（A4・2枚程度、所定様式を使用） ④ 最終学歴の卒業証明書 ⑤ 所属長による研究経歴の証明書（研究経歴のある者）	①・②・③ →データ（Word）をE-mail ④・⑤ →スキャンデータ（PDF）をE-mailで送付後、原本を郵送

（注）出願資格10について、中国（台湾、香港、マカオを除く）の大学を卒業（修了）した、あるいは、卒業（修了）見込みの者は、**III. 出願手続**、4. 出願書類等の備考1を参照すること。

3. 事前審査書類提出先

I. 募集人員を参照してください。

○E-mailで提出する書類

件名に「出願資格事前審査書類の提出」と表記の上、Word・PDF等の電子データをE-mailに添付・送信してください。また、必ず提出書類ごとに電子データを別けて、正しいファイル名称を付してください。

ファイル名称の例…「1.事前審査申請書」など

○郵送で提出する書類（各証明書の原本）

出願書類は所定の期日までに到着するように郵送する必要があります。郵送する際は必ず書留郵便とし、封筒表面に「出願資格事前審査書類在中」と朱書きの上、郵送してください。

4. 事前審査結果の通知

事前審査結果については、2025年4月入学志願者は2024年10月15日までに、2025年10月入学志願者は2025年4月22日までに、本人あてにE-mailで通知します。

III. 出願手続

1. 出願方法

インターネット出願及び出願書類の提出により出願できます。

①インターネットにより、志望情報等を入力する。

②入学検定料30,000円を支払う。（国費外国人留学生及び入学検定料免除の特例により出願する者を除く。）

③出願書類を送付する。

（注意）インターネット出願は、インターネットでの入力及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりません。別途、出願書類等が所定の期日までに到着するようにE-mailで送り、郵送指示のある証明書は原本を書留で郵送する必要があります。

2. 出願期間

志願者は、志望する指導教員に事前に相談し、了解を得たうえで出願してください。

上記出願方法の①、②、③の全てを期間内に終える必要があります。

(1) 4月入学者：2024年10月31日から11月11日17時（日本標準時間）

(2) 10月入学者：2025年5月7日から5月16日17時（日本標準時間）

3. インターネット出願

◆システムに関する問合せ先

インターネット出願・UCAROヘルプデスク（日本語対応のみ）

受付時間：10:00から18:00まで

（12月30日～1月3日を除く）

電話番号：03-6634-6494

※日本国外及びIP電話からご利用いただけます。

○入試に関する不明点等は、**I. 募集人員**の問合せ先・出願書類提出先に問い合わせてください。

受付時間 8:30から17:00まで（土日祝日を除く）

※電話番号については、市外局番が同じ地域がありますが、以下の地域については、市外局番からダイヤルしていただく必要がありますのでご注意ください。
(広島市、安芸郡府中町、海田町、熊野町及び坂町の各地域)

出願期間内に、次の8つのステップを完了してください。

Step 1: インターネット出願システムにアクセスする
アクセスページ

広島大学入試情報
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyushi>



Step 2: UCAROログイン画面から「UCARO会員登録」を選択

出願には「UCARO」への会員登録（無料）が必須です。
UCAROについては、以下のURLを参照してください。
<https://www.ucaro.net/>

Step 3: (入学検定料が免除される出願のみ該当) アカウントを入力

国費外国人留学生及び入学検定料免除の特例による出願の場合は、事前に**I. 募集人員**の「問合せ先・出願書類提出先」に問い合わせた後に、本研究院から通知する8桁以上の英数字を入力してください。

Step 4: インターネット出願システムに志望情報等を入力

画面上の指示に従って、氏名、住所、電話番号、メールアドレス等を入力してください。
※入力いただいた個人情報は、入学試験の実施及び選考、合格の通知及び発送、入学手続書類の送付、入学前後の案内の送付、入試統計データの作成、学生証の作成、学籍データの作成、入学検定料の収納等で利用することがありますので、正確な情報を入力してください。

Step 5: 写真をアップロード

デジタル写真（ファイル形式等：JPEG）を画面の案内に従ってアップロードしてください。郵送での提出はできません。
※出願時にアップロードされた写真は、受験時の本人確認のため使用するほか、入学後の学生証及び本学の教務システムでも卒業（修了）まで使用します。このため、入学後にも使用可能な写真のアップロードを推奨します。なお、写真アップロード後の差し替えはできません。
入学後に学生証の内容(写真や姓名の漢字表記)を変更する場合は、1,000 円の手数料が必要です。

Step 6: 入学検定料 (30,000 円) の支払い

「決算情報を入力」の画面で、次の中から支払方法を選択してください。

1. クレジットカード：VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club
2. コンビニエンスストア：セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、デイリーヤマザキ、セイコーマート
3. 金融機関 ATM 【Pay-easy】
4. ネットバンキング

(注意)

- ・入学検定料の他に、1 回の出願ごとに必要なインターネット出願システム手数料は、志願者負担となります。
(インターネット出願システム手数料の金額は出願時に表示されます。)
- ・出願受付後はいかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還しません。
なお、次の (1)、(2) の場合は、既納の入学検定料から振込手数料を差し引いて返還します。本学から検定料返還のための「返還請求書」を郵送しますので、「出願番号」、「ふりがな」、「氏名」、「電話番号」、「住所」、「振込先」及び「返還請求の理由」等を記入・押印の上、受験年度の 2 月末日までに **I. 募集人員**の「問合せ先・出願書類提出先」に郵送してください。
ただし、いずれの場合もインターネット出願の手数料は返還対象外です。
 - (1) 出願書類を提出しなかった、又は受付されなかった場合
 - (2) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

Step 7: 出願情報の登録完了

出願番号 (6 桁) が表示されるので、メモしておいてください。

Step 8: 出願書類の提出

提出又は送付先は、**I. 募集人員**の「問合せ先・出願書類提出先」をご覧ください。

○E-mailで提出する書類

件名に「出願書類の提出 (スマートソサイエティ実践科学研究院)」と表記の上、Word・PDF等の電子データをE-mailに添付・送信してください。また、必ず提出書類ごとに電子データを別けて、4. 出願書類等に記載されているファイル名を付してください。

ファイル名称の例... 「5. 学業成績証明書」など

○郵送する書類 (各証明書の原本)

出願書類は所定の期日までに到着するように郵送する必要があります。郵送する際は必ず書留郵便とし、封筒表面に「出願書類在中 (スマートソサイエティ実践科学研究院)」と朱書きの上、郵送してください。

4. 出願書類等（郵送指示のある証明書は原本を書留で郵送すること）

- ◇出願書類の所定様式については、志望する指導教員に了解を得た上で、ホームページからダウンロードしてください。https://www.hiroshima-u.ac.jp/smart_society/admission/m
- ◇インターネット出願をした後、次の表に掲げる書類等のすべてを提出してください。なお、出願資格事前審査で提出済の場合は、再提出不要です。
- ◇各証明書（語学検定試験の成績証明書を除く。）は原本を提出してください。証明書が新たに発行されない場合は、原本証明（原本と同じであると公的機関（発行機関が望ましい）が証明した写し(Certified Copy)）を認めます。
- ◇提出書類に虚偽の記載や詐称があることが判明した場合は、合格・入学を取り消します。

提出書類	摘 要	提出方法	
		郵送	E-mail
① 履歴書	所定様式を使用	/	○ Word
② 研究計画書	所定様式を使用し、具体的な研究内容について日本語又は英語で作成したもの	/	○ Word
③ 学業成績証明書	出身大学長（学部長）が作成したもの ※大学院在学中の者あるいは修了者は、大学学部・大学院の両方について提出すること。 ※学業成績証明書に成績評価基準の説明がない場合は、別途評価基準を説明した出身大学発行の書類を提出すること。	○	○ PDF
④ 卒業(修了)証明書 又は 卒業(修了)見込証明書	出身大学長（学部長）が作成したもの ※大学院在学中の者あるいは修了者は、大学学部・大学院の両方について提出すること。 ※卒業（修了）者の場合は、証明書に学位情報が記載されていることを確認すること。 ※中国（台湾、香港、マカオを除く）の大学を卒業（修了）した、あるいは、卒業（修了）見込みの者は、備考1を参照すること。	○	○ PDF
⑤ 推薦書 2通	1. 出身大学の指導教員によるもの1通 2. 所属している機関の長又は出身大学の学部長等が作成したもの1通 ※様式自由。詳細についてはホームページに掲載されているサンプルを参照すること。	/	○ PDF
⑥ 英語検定の成績証明書	入学試験日から原則過去2年以内に受験した、TOEIC®テスト、TOEIC®IPテスト、TOEFLiBT®テスト、TOEFL®iTPテスト又はIELTS（アカデミック）等の成績証明書を提出すること。	/	○ PDF
⑦ パスポート又は 公的身分証明書の写し	氏名と顔写真のページ	/	○ PDF
⑧ 検定料	30,000円（日本円で支払うこと。） ※インターネット出願システムから支払いを完了してください。 ※ただし、10月入学の入学試験については、2025年3月を目途に納付金額が決定される予定です。金額に変更のある場合はホームページでお知らせします。	/	/

備考1：中国（台湾、香港、マカオを除く）の大学を卒業（修了）した、あるいは卒業（修了）見込みの者は、以下全ての書類を提出すること。

- ・既卒者：a. 毕业证书 及び 学士（硕士）学位证书
b. 学歴証書電子登録票（教育部学历证书电子注册备案表）
- ・卒業（修了）見込者：a. 卒業（修了）見込証明書
b. オンライン在籍認証レポート（教育部学籍在线验证报告）

上記のうち、書類 b. は中国教育部認証システム（中国高等教育学生信息网 <http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>）より取得すること。なお、発行手数料は志願者が負担すること。また、提出時点でWeb認証の有効期限が15日以上残っていることを確認すること。

備考2：提出書類のうち英語又は日本語以外によるものは日本語又は英語の訳を付し、原本と訳の両方を提出すること。

備考3：以下に該当する者は英語検定の成績証明書を免除される場合があります。該当者は事前に相談してください。

- ・第一言語が英語である者
- ・公用語が英語である国・地域の大学・大学院を卒業・修了した者
- ・教育言語が英語である大学・大学院を卒業した者。その場合、教育言語が英語であることを証明する書類の提出が必要。

備考4：GRE(General Test)を受験した者は、成績証明書を提出してください。(提出は必須ではありません。)

※成績証明書は、出願期間内にETSより直接広島大学に送付されるよう手配してください。(機関コード：2358)ただし、受験者本人へ送付された成績証明書も受け付け可とします。

その他

- ① 受付後の記載内容の変更は、認めません。
- ② 原則として出願書類は返還しません。
- ③ 出願受付後は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しません。
- ④ 出願書類等に記載された個人情報(氏名、生年月日、性別、その他の個人情報等)は、入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。合格者の入学後は、学生支援関係(奨学金申請、授業料免除申請等)業務を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。
なお、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、コンピュータ処理をするため、関連業務を外部の事業者へ委託することがあります。

IV. 入学者選抜方法等

1. 入学者選抜方法

学力検査は、書類審査(学業成績証明書、研究計画書その他の出願書類)及び口述試験について行い、研究意欲、専門分野の知識・応用力、英語の語学力、課題解決能力、適性等に関する評価を行います。

2. 学力検査等実施日時

口述試験

4月入学志願者：2024年11月18日から11月28日の間

10月入学志願者：2025年5月21日から5月30日の間

※口述試験はオンラインで実施します。具体的な日時や接続方法等については、出願後に志望指導教員と調整することになります。

3. 評価基準

(1) 書類審査及び口述試験の判定は、以下の3段階により行い、Cを不合格とします。

A	非常に優れている(入学に最も適当であると認められるもの)
B	優れている(入学に適当であると認められるもの)
C	劣っている(入学に不適当であると認められるもの)

(2) 総合判定は、合格又は不合格とし、書類審査及び口述試験の両方に合格した者を合格とします。

4. 合格者発表

合格者発表は、4月入学者については2024年12月23日、10月入学者については2025年6月23日に行い、合格者に通知する予定です。

なお、本学HP等による掲示は行いません。また、電話/E-mailによる照会には応じません。

V. 入学手続

1. 入学手続期間

4月入学者は3月上旬、10月入学者は9月上旬の指定する期間に入学手続を行うこととなります。詳細については別途お知らせします。

2. 納入金

入学料 282,000円

授業料(年額) 535,800円

(1) 金額は2024年4月現在のものです。入学時あるいは在学中に納入金の改定が行われた場合は、改定後の金額を納入することとなります。

(2) 入学料は入学手続時、授業料は入学後に納入することとなります。納入金の額及び具体的な納入方法等の詳細並びに入学料・授業料の免除及び徴収猶予の申請方法については別途お知らせします。

(3) 既納の入学料はいかなる理由があっても返還しません。

3. 注意事項

(1) 合格後あるいは入学後、提出書類に虚偽の記載や詐称があることが判明した場合は、合格・入学を取り消します。

(2) 卒業(修了)見込で出願して合格した者が、入学日までに卒業(修了)できなかった場合は、入学を取り消します。

I. Number of Students to be Admitted

This student application guidebook describes the schedule of the entrance examination and the method for selecting students for the Graduate School of Innovation and Practice for Smart Society (Master's Course) and the number of students to be admitted by this student application guidebook are listed below.

April 2025 Admission • October 2025 Admission

Graduate School of Innovation and Practice for Smart Society (Master's Course)

Number of Students	Inquiries, Submission
April Admission: Several October Admission: Several	Support Office for the fields of International Development and Cooperation 1-5-1 Kagamiyama, Higashi-Hiroshima 739-8529, Japan Tel: +81-(0)82-424-4696 E-mail:smart-society@office.hiroshima-u.ac.jp

II. Admission Requirements

- ◇The applicant must be a non-Japanese citizen residing outside of Japan at the time of application and meet one of the following stipulations or expected to acquire one of the following stipulations by March 31, 2025 or September 30, 2025.
- ◇The applicant falls under stipulation 9 or 10 must refer to “Preliminary Evaluation of Admission Requirements” and undergo a preliminary evaluation of admission requirements.
 1. A person who graduated from a Japanese university stipulated by the 1947 School Education Law (No. 26, Article 83)
 2. A person who has received a bachelor's degree from the National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education, in accordance with the 1947 School Education Law (No. 26, Article 104, Section 7)
 3. A person who has completed 16 years of formal schooling in a foreign country
 4. A person who has completed 16 years of formal schooling in a foreign country, by earning the credit(s) of correspondence course(s) in the schooling program in Japan
 5. A person who has taken courses from a foreign university in Japan (completing sixteen years of education) thereby completing the required number of years of schooling, of which is recognized by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (hereinafter referred to as “MEXT”)
 6. A person who has been conferred a degree equivalent to a bachelor's degree through attending an overseas university or other overseas school (limited to those whose education and research activities have been evaluated by persons who have been certified by the relevant country's government or a related institution, or have been separately designated by the Minister of MEXT as being equivalent to such) and graduated from a program that requires 3 or more years to complete (Includes graduating from a program implemented by the relevant overseas school while living in Japan through distance learning, as well as graduating from a program implemented by an educational facility established with the relevant overseas country's school education system and has received the designation mentioned above)
 7. A person who has completed the specialized curriculum of a higher vocational school, of four years or more, and has been specially selected by the Minister of MEXT
 8. A person who has been specially selected by the Minister of MEXT
 9. A person who has entered a graduate school, in accordance with the 1947 School Education Law (No. 26, Article 102, Section 2) and recognized by Graduate School as having a suitable academic ability to engage in graduate level studies
 10. A person who is 22 years old or more, recognized by Graduate School as having academic ability equivalent to that of a university graduate

Preliminary Evaluation of Admission Requirements

Applicants who fall under the stipulation 9 or 10 are required to undergo a preliminary evaluation of admission requirements. The procedures are outlined below.

For those who need to undergo a preliminary evaluation, please obtain the prescribed forms from Support Office for the fields of International Development and Cooperation by E-mail.

1. Submission Period

For April Enrollment – September 30 to 17:00, October 4, 2024 (Japan Standard Time, Must Arrive)

For October Enrollment – April 7 to 17:00, April 11, 2025 (Japan Standard Time, Must Arrive)

2. Documents to be Submitted

- ◇Each certificate must be the original. However, if a new certificate is not issued, a certified copy of the original that certified by the official organization, preferably the issuing organization will be accepted.
- ◇Any forgery or falsification of the documents and/ or academic fraud would result in cancellation of acceptance even after passing examination and/ or completing enrollment procedure.

Stipulation	Document Type	How to submit
Stipulation 9	(1) Preliminary evaluation application form (use the prescribed form) (2) Curriculum Vitae (use the prescribed form) (3) Undergraduate and Graduate Academic transcripts (4) Certificate of enrollment or graduation from a graduate school	(1) and (2) →Submit Word files by E-mail (3) and (4) →Submit original documents by mail after sending scanned original documents (PDF) by E-mail
Stipulation 10 (※)	(1) Preliminary evaluation application form (use the prescribed form) (2) Curriculum Vitae (use the prescribed form) (3) Statement by applicant demonstrating that he/she has an academic ability equivalent to that of a university graduate (use the prescribed form) (4) Certificate of Graduation (a certificate showing the last degree obtained) (5) Certificate of Research History by the immediate supervisor (a person who has research history)	(1), (2) and (3) →Submit Word files by E-mail (4) and (5) →Submit original documents by mail after sending scanned original documents (PDF) by E-mail

※**Note for Stipulation 10:** If the applicant is a graduate or a current student of any university in China (excluding Taiwan, Hong Kong and Macau), please see the Note 1 of **4. Application Documents, III. Application Procedure.**

3. Address for Submission

Refer to **I. Number of Students to be Admitted**

◇Documents to be submitted by E-mail

Please send Word or PDF files by E-mail with the subject line "Submission of documents for Preliminary Evaluation of Admission Requirements". Please be sure to separate the files for each submitted document and name the files correctly. Example "1. Preliminary evaluation application form" etc.

◇Documents to be submitted by mail (original or certified copy)

The documents must be sent in a registered mail and reach us before the deadline. Please write "Documents for Preliminary Evaluation of SmaSo" on the envelope.

4. Notification of Preliminary Evaluation Results

Applicant for April 2025 enrollment will be notified of the result of the preliminary evaluation by October 15, 2024.

Applicant for October 2025 enrollment will be notified of the result of the preliminary evaluation by April 22, 2025.

III. Application Procedure

1. Application Method

Apply through the online application system and submit the application documents.

(1) Input the information regarding the application on the online application system.

(2) Pay the application fee of 30,000 yen.

NOTE: The following applicants may be exempt from paying the application fee. Please contact the office in advance.

a. MEXT Scholarship student

b. The applications who have applied for a special exemption for the disaster victims under the Disaster Relief Act.

(3) Submit the application documents.

(Note)

Your application will not be completed when only the input of the information on the online application system and the payment of the application fee are done. It is required to send the application documents by E-mail and bring or send the original certificates by registered mail to be received before the deadline.

2. Application Period

Before applying, please make sure to receive an informal consent from the prospective supervisor.

The applicant must complete all the processes (1), (2) and (3) described **1. Application method** during the application period.

The applicants for April enrollment: October 31, 2024 to November 11, 2024 by 5:00 p.m.

The applicants for October enrollment: May 7, 2025 to May 16, 2025 by 5:00 p.m.

3. Online Application

- ◆ Inquiry regarding the system

Inquiries concerning online application system and UCARO website	TEL +81-3-6634-6494 (Japanese Speaking Only) Inquires accepted from 10:00 am to 6:00 p.m. (Except from December 30 to January 3)
--	--

- ◆ About unclear points regarding the entrance examination, ask the inquiry contact indicated under the section **I. Number of Students to be Admitted.**
Opened: 8:30 - 17:00 (closed on Saturdays, Sundays, and national holidays)

Complete the following 8 steps during the application period.

Step 1: Access the Online Application System

Access the online application system from the Hiroshima University Admissions Information web page:
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/en/nyugaku>

Step 2: Select 'Membership Registration' on the UCARO log in screen

Account registration for UCARO is required for all applicants (free of charge) and it enables applicants to use the above online application system and complete the enrollment procedures.
Refer to the following URL for UCARO: <https://www.ucaro.net/>

Step 3: Input your account information (Applies only to those applicants whose examination fee is exempted)

MEXT Scholarship student and who applies to the category for which the application fee is exempted must ask 8 digits of alphanumeric characters to the contact list written at **I. Number of Students to be Admitted** and input them.

Step 4: Input your application data into the Online Application System

Follow the instruction on the screen and enter your name, address, telephone number, E-mail address etc.

* Your personal information registered through the online application system will be used for the following purposes; Please enter accurate information.

1. Entrance examinations
2. Notify and send the admission results
3. Sending documents for enrollment to successful applicants
4. Sending information before and after enrollment
5. Admissions statistics
6. New student registration and Student ID-Cards
7. Application fee payment

Step 5: Upload your photo

Follow the instruction shown on the screen to upload the digital data of your photograph (File format: JPEG).

* The uploaded photo, which will be used for identification at the examination, will be also used for your student ID card after enrollment and will be maintained in the university's educational system until graduation.

Therefore, please upload an appropriate photo for use after enrollment as well.

Once uploaded, your photo will not be allowed to be replaced. A fee of JPY 1,000 will be charged for changing the content of your student ID card (photo and your name) after enrollment.

Step 6: Pay the application fee (JPY 30,000)

Choose the method of payment from the following list. For applications from outside Japan, only credit card payments can be accepted.

1. Credit Cards: VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club
2. Convenience Stores: 7-Eleven, LAWSON, MINISTOP, FamilyMart, Daily Yamazaki, Seicomart
3. Banking facilities' ATM 【Pay-easy】
4. Online Banking

(Note)

- In addition to the application fee, applicants must cover the processing fee for each application.
The amount of processing fee will be notified at the time of online application.
 - The application fee, once paid, will not be refunded for any reason.
However, in cases (1) and (2) below, the application fee is refundable after deducting the bank transfer fee.
Therefore in such cases, please clearly write the “reason for demand of refund”, “name”, “postal code”, “address,” “transfer destination information” and “contact telephone number” in the prescribed format given from the university and send it to the address mentioned Step 8 by postal mail until the end of following February.
- (1) If the application documents have not been submitted, or if they have not been accepted
(2) If duplicate payments of the application fee have been made in error

Step 7: Initial registration process completed (Your application is not completed yet).

Write down the application number of 6 digits that is shown on the screen.

Step 8: Submission of application documents

For the submission address, refer to the inquiry contact described in the section **I. Number of Students to be Admitted.**

◇ Documents to be submitted by E-mail

Please send Word or PDF files by E-mail with the subject line "Application documents for SmaSo". Please be sure to separate the files for each submitted document and name the files along the list written at 4.

Application Documents. Example: "3. Academic Transcript " etc.

◇ Documents to be submitted by mail (original or certified copy)

The documents must be sent in a registered mail and reach us by the last day of the application period. Please write “Application for SmaSo” in red on the envelope.

4. Application Documents

- ◇ Download the prescribed forms from the website.
https://www.hiroshima-u.ac.jp/en/smart_society/admission/m
- ◇ After completing online application, submit all the documents listed below at once during the application period to the address indicated in the I. Number of Students to be admitted.
- ◇ Documents that have already been submitted in the “Preliminary Evaluation of Admission Requirements” do not need to be resubmitted.
- ◇ The documents marked ✓ in the Mail column, you must send the original copies by registered mail.
- ◇ Each certificate, except “English Proficiency Test Score ,” must be the original. However, if a new certificate is not issued, a certified copy of the original by the official organization, preferably the issuing organization will be accepted.
- ◇ Any forgery or falsification of the documents and/ or academic fraud would result in cancellation of acceptance even after passing examination and/ or completing enrollment procedure.

Document Type	Details	How to submit	
		Mail	E-mail
1. Personal History	Use the prescribed form	/	✓ Word
2. Research Proposal	A detailed research proposal written in either Japanese or English Use the prescribed form	/	✓ Word
3. Academic Transcript(s)	Issued by the president of the university or the dean of the faculty the applicant attended or is attending. *If the applicant enrolls in or has completed a graduate school, documents of the graduate program as well as the undergraduate program must be submitted. *If there is no explanation about grading system on the transcript, separate official document explaining the system must be attached.	✓	✓ PDF
4. Diploma or Certificate(s) of (Expected) Graduation	Issued by the president of the university or the dean of the faculty the applicant attended or is attending. *If the applicant enrolls in or has completed a graduate school, certificates of the graduate program as well as the undergraduate program must be submitted. *If you are a graduate, make sure that the certificate includes the degree information. *If the applicant is a graduate or a current student of any university in China (excluding Taiwan, Hong Kong and Macau), please refer to the Note 1 below.	✓	✓ PDF
5. Two Letters of Recommendation	1. A letter of recommendation from an academic advisor 2. A letter of recommendaiton from the head of applicant’s	/	✓ PDF

	organization or the dean of the university or equivalent position that the applicants graduated. *No prescribed form, refer sample form at website for detail		
6. English Proficiency Test Score	Score report of the TOEIC®, TOEIC®IP, TOEFLiBT®, TOEFL®ITP or IELTS academic or equivalent as a certificate of English proficiency. The tests taken within 2 years before the examination date is preferred.		✓ PDF
7. Passport or National ID card	The personal details page with your photo and signature		✓ PDF
8. Application Fee	¥30,000 for April enrollment (Japanese Yen only). *Complete application fee payment via Online application system. *The amount of application fee for October enrollment will be determined in around March 2025. If there is a change, we will inform the revised amount on the website.		

Note1: If the applicant is a graduate or a current student of any university in China (excluding Taiwan, Hong Kong and Macau), please submit all the following documents.

- **Graduates:**
 - (a) Certificate of Graduation (毕业证书) and Bachelor/Master's Diploma (学位证书)
 - (b) Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate (教育部学历证书电子注册备案表)
- **Expected Graduates:**
 - (a) Certificate of Expected Graduation
 - (b) Online Verification Report of Student Record (教育部学籍在线验证报告)

The document (b) above must be obtained through “中国高等教育学生信息网(CHSI)” (<http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>). Please note that applicants must pay the issuing fee for the Online Verification Report by themselves. Also be sure that there are 15 or more days left until the expiration date of the online verification at the time of its submission.

Note2: Documents written in languages other than English or Japanese must be translated into English or Japanese. Submit both the original and translated documents.

Note3: The following applicants are exempt from submitting English Proficiency Test Score;

- Applicants whose first language is English.
- Applicants who have graduated from a university or a graduate school located in an English-speaking country.
- Applicants who have completed an undergraduate or graduate degree program where the language of instruction and examination was English. In this case, an official statement from the academic institution will be required, confirming the use of English as the language of instruction and examination.

Note4: Submit a GRE General Test Official Score, if available. (The submission of the GRE score is optional.) The Official Score Report must be sent by ETS directly to Hiroshima University (Institution Code: 2358) no later than the submission period. (The Examinee Score Report sent to applicants from ETS is acceptable as well.)

Others

- i) Documents may neither be altered nor amended after submission.
- ii) In principle, application materials will not be returned.
- iii) Application fee is non-refundable for any reason after the application forms have been accepted.
- iv) Personal information (name, date of birth, gender, etc) recorded on application forms will be used in the selection of entrants, notification of passing of entrance exams, and also entrance procedures. Once successful applicants have entered the university, the university will manage the data for use in matters relating to student support (scholarship applications, tuition fee exemption applications etc.). This data will not be used for any other purpose or be seen by anyone except staff of this university. However, after an agreement has been made regarding the appropriate use of personal information, there may be cases whereby related business is entrusted to companies outside the university for purposes of computer management.

IV. Admission

1. Selection Process

The academic examination consists of the Document Review (Academic Transcripts, Research Proposal, and other application documents) and the Oral Examination to evaluate the applicant's motivation for research, knowledge and applied skills in the applicant's field of specialization, English language skills, problem-solving ability, and aptitude.

2. Date of Entrance Examination

Oral Examination:

For April Enrollment – between November 18 and November 28, 2024

For October Enrollment – between May 21 and May 30, 2025

※The Oral Examination will be conducted by online. The specific date, time, and connection method will be informed by the prospective applicant's academic advisor after the application has been accepted.

3. Evaluation Criteria

- (1) The results of the Document Review and the Oral Examination will be evaluated in scale of three level indicated below and the grade of C is considered “fail.”

A	Excellent (Most Appropriate for Enrollment)
B	Good (Appropriate for Enrollment)
C	Poor (Inappropriate for Enrollment)

(2) Those who have passed both the Document Review and the Oral Examination will be successful applicants.

4. Announcement of Admission

Announcement of admission for April 2025 enrollment will be on December 23, 2024.

Announcement of admission for October 2025 enrollment will be on June 23, 2025.

A written notice will be sent to all successful applicants on the announcement day. Telephone/E-mail inquiries will not be answered.

V. Enrollment Procedure

1. Period

Early of March for April enrollment and early of September for October enrollment. More details will be informed later.

2. Fees

Enrollment Fee: ¥ 282,000

Tuition Fee: ¥ 535,800 (for one year)

(1) The above amount is as of April 2024. In case of the revision of the amount at the time of enrollment or during the period of enrollment, the most recent tuition fees will always apply.

(2) Enrollment fee must be paid at the time of enrollment and tuition fee must be paid after the enrollment. Exact amount, detailed payment methods, and information on enrollment/tuition fee exemption or deferment application will be announced later.

(3) Enrollment fee, once paid, will not be reimbursed under any circumstances.

3. Notes

(1) Any forgery or falsification of the documents and/ or academic fraud would result in cancellation of acceptance even after passing examination and/ or completing enrollment procedure.

(2) For applicants accepted on the condition of graduation from currently enrolled university, admission will be cancelled if s/he cannot graduate by the time of enrollment.

国際公務員育成特別教育プログラム

国際公務員育成特別教育プログラム

https://www.hiroshima-u.ac.jp/smart_society/civil

広島大学大学院人間社会科学研究科人文社会科学専攻（国際平和共生プログラム、国際経済開発プログラム）と教育科学専攻（国際教育開発プログラム）、大学院先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻（理工学融合プログラム）及び大学院スマートソサイエティ実践科学研究院では、将来のキャリアとして国際公務員を志望する学生を対象に「国際公務員育成特別教育プログラム」を実施します。

目的

国際機関等の国際協力・開発の現場で、専門的な知識と同時に実務的な経験を備え、主導的役割を担うことのできるリーダーの育成を目的とします。

利点

- ✓ 通常のカリキュラムで修得できる自らの専門性に基づいた知識やスキルに加え、本プログラムの必修科目の履修等により国際公務員として国際協力・開発の業務に携わるために必要な実践的な知識・ノウハウを得ることができます。
- ✓ 主任指導教員に加え、キャリア開発のためのプロフェッショナル・メンターが配置されます。
- ✓ 国際機関をはじめとする国際協力・開発の第一線で活躍する講師を招いた勉強会やセミナーなどに参加することができます。
- ✓ プログラムの修了要件を満たした学生には、修了証が授与されます。

プログラム登録要件

上記学位プログラムの博士課程前期学生であれば、本特別教育プログラムに応募できます。選考は入学後に行い、応募者の中から書類審査及び口述試験によりプログラム登録学生を決定します。詳しい情報は入学後のプログラムオリエンテーションにてご案内します。

お問い合わせ先

大学院人間社会科学研究科
大学院先進理工系科学研究科
大学院スマートソサイエティ実践科学研究院

【国際協力学系支援室（国際公務員プログラム担当）】

E-mail : koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp

国際公務員



国際環境リーダー育成特別教育プログラム

背景

近年、地球温暖化、生物多様性の減少、砂漠化の進行、発展途上国の公害問題など、人類の生存基盤にかかわる深刻な地球環境問題に関する広範な知識や解決策に向けた分析力は、国際開発や国際協力のあらゆる分野において必要となる基本的な専門性となりつつあります。こうした専門性を身につける追加的な教育機会を提供するために、広島大学大学院人間社会科学研究科人文社会科学専攻（国際平和共生プログラム、国際経済開発プログラム）と教育科学専攻（国際教育開発プログラム）、先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻（理工学融合プログラム）及びスマートソサイエティ実践科学研究院では、「国際環境リーダー育成特別教育プログラム（GELsプログラム）」を実施します。

目的

GELsプログラムでは、複眼的、国際的視野で国や地域が直面する課題を見出し、戦略的解決策を設計できる環境リーダーの育成を目的とします。

利点

- ✓ 持続可能な社会を構築するために必要な、自らの専門性に基づいた知識やスキルに加え、様々な分野の第一線で活躍する専門家から、学際的知識を得ることができます。
- ✓ 様々な専門や経験を持つ学生と共に学習し、高いコミュニケーションスキルを修得できます。
- ✓ GELsプログラムの学生向けのセミナーやインターンシップ・フィールドワークなどの取り組みがあります。
- ✓ プログラムの修了要件を満たした学生には、修了証が授与されます。

プログラム登録要件

上記学位プログラムの学生であれば、国籍に関わらず本プログラムに登録できます。
登録時期は、4月と10月の年2回となります。

お問い合わせ先

大学院人間社会科学研究科
大学院先進理工系科学研究科
大学院スマートソサイエティ実践科学研究院

【国際協力学系支援室（GELsプログラム担当）】

E-mail: koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp

https://www.hiroshima-u.ac.jp/smart_society/gels



SmaSo-X Challenge 事業

大学院スマートソサイエティ実践科学研究院は、本学の4研究科（人間社会科学研究科，先進理工系科学研究科，統合生命科学研究科，医系科学研究科）の教員陣が参画する大学院であり、「SmaSo-X」をキャッチフレーズとした「スマートソサイエティ実践科学」を具現化するべく、専門知識（分野）、学内外の組織、そして国境・世代をも超越する超学際実践研究（クロスオーバー研究）を推進しています。

SmaSo-X Challenge事業では、本研究院を起点とした、「スマートソサイエティ実践科学」のクロスオーバー研究推進の一環として、分野を超えた学生の超学際的な連携を重点的に支援していきます。

◆ Graduate Students 研究助成制度（SmaSo在籍学生対象）

クロスオーバー研究に従事する大学院生を対象として、選考の上、以下のとおり支援します。

支援内容

研究助成金：1件あたり最大30万円

応募資格

本研究院に所属する大学院生（博士課程前期・博士課程後期）

- ※1：標準修業年限内の学生に限る。
- ※2：日本学術振興会特別研究員、広島大学HU-SPRING研究支援プログラムに採用（内定含む）されている者は対象外とする。
- ※3：研究助成や奨学金を受給している者は、併給が可能であることを確認した上で申請すること。
本研究助成金の支給開始後に併給不可であることが分かった場合、採用を取り消し、支給額（すでに執行した経費を含む）の返還を求める場合がある。
- ※4：必ず指導教員から了承を得た上で申請すること。採択された場合、指導教員が助成金の管理責任者となり、広島大学の規定の下で執行される。

応募方法

大学院入学後、指導教員に申請の了承を得た上で必要書類を提出します。

詳細はホームページを参照してください。

https://www.hiroshima-u.ac.jp/smart_society/smasox

※ 本研究助成は、2024年4月時点のものであり、今後変更の可能性がります。

Special Education Program for Young Professionals Preparing for Careers in International Organizations (YPPCIO Program)

Special Education Program for Young Professionals Preparing for Careers in International Organizations (YPPCIO Program)

https://www.hiroshima-u.ac.jp/en/smart_society/civil

The Graduate School of Humanities and Social Sciences (International Peace and Co-existence Program, International Economic Development Program, International Education Development Program), The Graduate School of Advanced Science and Engineering (Transdisciplinary Science and Engineering Program) and The Graduate School of Innovation and Practice for Smart Society of Hiroshima University (hereinafter "HU") offer the YPPCIO Program to support and nurture students who will pursue their future careers in international organizations. The YPPCIO program is aimed at developing leaders who can, with their practical experiences as well as technical knowledge, play a major role in the field of international development and cooperation. In pursuit of these goals, the curriculum of this program provides innovative knowledge and skills for various international issues.

ADVANTAGES

- ✓ The curriculum provides the practical knowledge and skills required for international civil servant in the field of international development and cooperation.
- ✓ A mentor is allocated to each student to develop future careers.
- ✓ Students have various opportunities to participate in symposia and seminars by invited lecturers who are active in the field of international development and cooperation.
- ✓ Certificate of completion is conferred upon satisfying the requirements of the program.

HOW TO REGISTER THE PROGRAM

Any "HU" master students are welcome to apply. Successful students are selected by the way of screening of the submitted application form. Detailed information will be provided on the "MOMIJI" notice board at the beginning of each semester.

Contacts

Graduate School of Humanities and Social Sciences, Hiroshima University
Graduate School of Advanced Science and Engineering, Hiroshima University
Graduate School of Innovation and Practice for Smart Society, Hiroshima University

IDEC Office / Support Office for the fields of International Development and Cooperation
<YPPCIO>

E-mail : koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp



Global Environmental Leaders Special Education Program

BACKGROUND

In recent years, broader knowledge and analytical skills to cope with global environmental issues such as climate change, biodiversity losses, desertification, pollution in developing countries, and so on that threaten the existence of humans have become necessary fundamental expertise for any areas related to global sustainability and international cooperation. In order to offer an additional educational opportunity for having such expertise, The Graduate School of Humanities and Social Sciences(International Peace and Co-existence Program, International Economic Development Program, International Education Development Program), The Graduate School of Advanced Science and Engineering (Transdisciplinary Science and Engineering Program) and Graduate School of Innovation and Practice for Smart Society of Hiroshima University (hereinafter "HU") have been implementing the Global Environmental Leaders Special Education Program (GELs Program).

OBJECTIVES

The GELs Program is to nurture global environmental leaders who are capable of identifying problems and formulating strategic solutions at the national and local level through interdisciplinary and international perspectives.

ADVANTAGES

- ✓ GELs students can obtain necessary knowledge and skills to create a sustainable society based on students' individual specializations as well as interdisciplinary knowledge from experts in various fields.
- ✓ GELs students can acquire communication skills by studying with peers with diverse backgrounds and areas of experience.
- ✓ GELs program offers various educational opportunities. (ex. special seminar, internship, and fieldwork)
- ✓ Certificate of completion is conferred upon satisfying the requirements of the program.

HOW TO REGISTER THE PROGRAM

Any HU students, regardless of nationality, are welcome to register. Students who wish to participate in GELs program are required to submit the registration form by the designated deadline in April and October.

CONTACTS

Graduate School of Humanities and Social Sciences, Hiroshima University
Graduate School of Advanced Science and Engineering, Hiroshima University
Graduate School of Innovation and Practice for Smart Society, Hiroshima University

IDEC Office / Support Office for the fields of International Development and Cooperation

GELs program

E-mail: koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp

https://www.hiroshima-u.ac.jp/en/smart_society/gels



SmaSo-X Challenge Project

The Graduate School of Innovation and Practice for Smart Society is a graduate school involving faculty members from four research departments at our university: Graduate School of Humanities and Social Sciences, Graduate School of Advanced Science and Engineering, Graduate School of Integrated Sciences for Life, and Graduate School of Biomedical and Health Sciences. With the catchphrase "SmaSo-X," we aim to embody the concept of "Innovation and Practice for Smart Society" by promoting transdisciplinary practical research (crossover research) that transcends expertise (fields), internal and external organizations, as well as boundaries of nations and generations.

In the SmaSo-X Challenge project, as part of promoting crossover research in "Innovation and Practice for Smart Society" initiated by our graduate school, we will provide focused support for interdisciplinary collaboration among young faculty members and students across fields.

Students Research Grant

The graduate school encourages graduate students who engage in crossover research to provide the following support after selection.

Amount

Up to 300,000 yen per project

Eligibility

Graduate students (both master's course and doctoral courses) of the Graduate School of Innovation and Practice for Smart Society

The applicant should be in a standard study period.

* The applicant should be in a standard study period.

** Those who have selected (including unofficially selected) for the Research Fellowship for Young Scientists by the Japan Society for the Promotion of Science, or HU-SPRING Research Project by Hiroshima University are NOT eligible for this research grant.

*** If you are currently receiving research grants or scholarships, please confirm that you can receive both grants before applying. If it is proved after the start of grant period that it is not possible to receive the grants at a same time, the selected candidate's acceptance may be rescinded and the candidate may be required to reimburse the amount of this research grant (including the amount which has already executed).

**** Applicant should obtain approval from supervisor before applying. If selected, supervisor will be in responsible of the grant administration and its execution will be made in accordance with the regulation by Hiroshima University.

How to apply

After enrollment, submit the required documents after consultation of academic advisor.

For detail, please refer our website.

https://www.hiroshima-u.ac.jp/en/smart_society/smasox

*The conditions for the Research Grant are subject to change according to the budget.

教員一覧（博士課程前期） List of Members (Master's Course)

研究領域 Research Area	職名 Position	氏名 Name	研究内容 Research Theme
Cyber Physical System	教授 Professor	江口 浩二 EGUCHI, Koji	大規模かつ不均質で動的なデータの解析、とりわけテキスト解析・情報検索、ネットワーク解析、金融データ解析などの応用を見据えた研究を行うとともに、それらの基盤となる確率モデリングと統計的推定及び機械学習(ベイズモデリングと深層学習を含む)に関する研究を行っている。 Large-scale, complex and dynamic data analysis (including text analysis & information retrieval, network analysis, and financial data analysis). Probabilistic modeling, statistical inference, and machine learning (including Bayesian modeling and deep learning).
	教授 Professor	栗田 雄一 KURITA, Yuichi	人の運動、感覚、心理に関わる計測、解析、モデリングとその工学応用に関する教育・研究。具体的には人間の運動・感覚メカニズム、ロボティクス、サイバネティクス、医療・福祉工学、ハプティクス、バーチャルリアリティ、ヒューマンコンピュータインタラクション、人間拡張など。 The main subject of research is the measurement, analysis and modeling of motor, sensory, and psychological functions with its engineering applications. The research area covers human mechanism, robotics, cybernetics, medical and healthcare engineering, haptics, virtual reality, human computer interaction, and human augmentation, etc.
	教授 Professor	◇ 山本 透 YAMAMOTO, Toru	Society5.0を支える技術としての、データ駆動型スマートシステムの構築に関する教育と研究。具体的には、制御システム、モデルベース開発(MBD)、データ駆動型システム、サイバー・フィジカル・システム(CPS)などに関する研究、ならびにこれらの社会実装。 Research and education on the construction of data-driven smart systems as a technology to support Society 5.0. Specifically, research on control systems, model-based development (MBD), data-driven systems, Cyber-Physical Systems (CPS), etc., and their social implementation.
	教授 Professor	石井 抱 ISHII, Idaku	スマートセンシング・ロボット技術を中心としたサイバーフィジカルシステム(CPS)の研究。人間の能力を上回る高速ビジョン、高速化・集積化を念頭においた知的アルゴリズム、人間には感じとることが難しい振動等の情報センシング理論、ならびにこれらの様々な実世界場面での実装。 Research on Cyber-Physical Systems (CPS) with smart sensing and robot technologies. High-speed vision that exceeds human ability, intelligent algorithms for integration and acceleration, informatic sensing theories for human-insensible phenomena such as vibration, and their implementation in various real-world scenarios.
	教授 Professor	高木 健 TAKAKI, Takeshi	機構設計やロボット技術を中心としたサイバーフィジカルシステム(CPS)の研究。具体的には、移動ロボット、脚式ロボット、動力伝達機構、センシング機構、センサベースドマニピュレーションなど。 Research on Cyber-Physical Systems (CPS) with smart mechanics design and robotics technology. For example, mobile robot, legged robot, power transmission mechanism, sensing mechanism, sensor-based manipulation, etc
	教授 Professor	林田 智弘 HAYASHIDA, Tomohiro	人間の嗜好や行動心理などを考慮に入れた意思決定分析とデータ解析。具体的には、ゲーム理論、最適化、意思決定論に基づく理論的な分析、人工社会モデルを用いたシミュレーション分析、機械学習及び進化計算手法を用いた非線形データ解析など。 Research on decision analysis and data analysis considering the preference structure of humans. It relates to game theory, optimization, decision analysis based on theoretical analysis, simulation analysis, artificial agent modelling, and nonlinear data analysis using machine learning and evolutionary computation.
	准教授 Associate Professor	アンドラーデ シルバ ダニエル ゲオルグ ANDRADE, Silva Daniel Georg	確率モデリングと統計的機械学習、特にベイズ統計に関する研究を行っている。 Research on probabilistic modeling, statistical machine learning, and in particular Bayesian statistics in general.
	准教授 Associate Professor	ライチエフ ピセル ルメノフ RAYTCHEV, Bissier Roumenov	画像の認識・理解・生成やコンピュータビジョン、機械学習、深層学習や脳型コンピューティングに関する研究、及びそれらの技術を用いたバイオメディカル イメージング、医用画像解析、視覚と言語情報の融合(コンピュータビジョンと自然言語処理の融合)、ビデオ サーベイランスなどの各種応用研究を行っている。 Research related to image recognition and understanding, computer vision, machine learning, deep learning, brain-inspired computing and various applications of these technologies, such as biomedical image analysis, vision and language-based information fusion (computer vision and natural language processing), video surveillance, etc.

研究領域 Research Area	職名 Position	氏名 Name	研究内容 Research Theme
Cyber Physical System	准教授 Associate Professor	福嶋 誠 FUKUSHIMA, Makoto	脳神経科学, ネットワーク科学, 人工知能の融合領域研究。具体的には, 脳内電流源推定の手法開発, 時変脳機能結合のネットワーク分析, 脳構造ネットワーク上の情報伝播モデリング, 実際の脳ネットワークと人工神経回路の関連づけ。 Interdisciplinary research in neuroscience, network science, and artificial intelligence. In particular, developing methods for estimating current sources in the brain, network analysis of time-resolved functional brain connectivity, modeling information propagation in structural brain networks, and relating empirical brain networks to artificial neural networks.
	准教授 Associate Professor	古居 彬 FURUI, Akira	生体信号情報の計測・解析やモデリング, 機械学習応用に関する研究。具体的には, 脳波・筋電位・心電図などに対する生体信号処理や, 確率モデリング, 機械学習, 深層学習, ヒューマンマシンインタフェース, 医用画像解析, ロボット義手など。 Research on the measurement, analysis, and modeling of human biosignal information and its machine learning applications. Topics include biosignal processing for EMG, EEG, ECG etc., probabilistic modeling, machine learning, deep learning, human-machine interface, robotic prostheses, biomedical image analysis, etc.
	准教授 Associate Professor	木下 拓矢 KINOSHITA, Takuya	SDGsに貢献するデータ駆動型制御技術に関する研究。具体的には所望の制御性能を満足するパフォーマンス駆動型制御や人を中心としたヒューマン・イン・ザ・ループシステムの構築。 Research on data-driven control technology that contributes to the Sustainable Development Goals (SDGs). Specifically, the focus is on performance-driven control that satisfies the desired control performance and the construction of human-in-the-loop systems that prioritize interaction between humans and systems.
	助教 Assistant Professor	島崎 航平 SHIMASAKI, Kohei	高速ビジョンシステムに基づく振動等のダイナミックセンシング, 時空間認識の応用に係る研究を実施。広域コンベアや中小橋梁の振動モニタリング, 光学的アンチドローン監視システム, ミツバチの飛翔アクティビティ計測など, 様々な応用分野への幅広く展開。 I am conducting research and development on sensing technology using a high-speed vision. In particular, I am conducting research on dynamic sensing and spatio-temporal recognition. I am developing various applications, including vibration imaging for wide-area conveyors and bridges, an optical anti-drone monitoring, and honeybee flight activity measurement.
Smart Mobility	教授 Professor	△ 藤原 章正 FUJIWARA, Akimasa	交通計画の策定方法, 交通政策の評価, 持続可能な開発と交通 Transportation planning methods, evaluation of transport policies, and sustainable development and transport
	教授 Professor	馮 涛 FENG, Tao	都市計画, スマートモビリティ, 交通行動, 交通ネットワーク分析, データ駆動型技術, ビルトエンバイロメントとモビリティ, 空間計画, 都市環境解析, スマートエネルギーの意思決定, 都市計画のためのビッグデータとマシンラーニング Urban planning, smart mobility, travel behaviour, transport network analysis, data driven technology, mobility in built environment, spatial planning, urban environment analysis, decision making in smart energy, big data & machine learning for urban research
	教授 Professor	カ石 真 CHIKARAISHI, Makoto	都市インフラのスマート化, 交通計画, 都市計画, 交通行動分析, 交通調査設計, 交通ネットワーク分析, 防災・減災, リスク解析 Smart urban infrastructure, transportation planning, urban planning, travel behavior analysis, travel survey design, transport network analysis, resilience research, risk analysis
	准教授 Associate Professor	鹿嶋 小緒里 KASHIMA, Saori	環境要因と人の健康に関する「環境保健科学」に関する研究, および「プラネタリーヘルス」実践のための「環境疫学」手法を用いた研究 "Environmental Health Science Research" on environmental factors and human health, and "Environmental Epidemiological Research" for engaging "Planetary Health"
	准教授 Associate Professor	塚井 誠人 TSUKAI, Makoto	経済分析, 統計モデル, 数理計画モデル, 都市・交通システムに関する分析・計画手法の開発, 鉄道や航空などの輸送機関の需要及び大量自動観測交通解析のための統計手法の開発, テキスト解析を通じた合意形成, 深層学習・画像解析に基づくビッグデータ解析手法の開発 Planning methodology and analysis of low-carbon society and transportation: economical evaluation, statistical models, mathematical programming, travel behavior models, development of statistical model for "big-data" including text data, development of deep data analysis with its handling using deep learning and image analysis
特定 准教授 Assistant Professor, Special Recognition	清家 美帆 SEIKE, Miho	大閉鎖空間火災防災: 避難挙動, 防災計画, 熱気流流動, リスク解析, 避難時の意思決定, 安全工学 Large enclosed-space fire safety: evacuation behavior, disaster prevention plan, thermal fume behavior, risk analysis, decision making of evacuation start	

研究領域 Research Area	職名 Position	氏名 Name	研究内容 Research Theme
Smart Energy	教授 Professor	市川 貴之 ICHIKAWA, Takayuki	材料の高機能化に関する研究。具体的には、二次電池材料、新しい機構の燃料電池、あるいはエネルギー変換系、更には固体系水素貯蔵材料など、広い意味でのエネルギー貯蔵及びエネルギー変換材料の反応機構解明と高性能化に関する研究、廃棄物系アンモニアの回収と有効利用に関する研究。 Research and development of energy conversion materials which are in particular related to: Secondary battery materials; Fuel cell with non-conventional mechanisms, energy conversion systems, and/or solid state hydrogen storage materials; Energy recovery from waste and biomass.
	教授 Professor	松村 幸彦 MATSUMURA, Yukihiro	超臨界水によるバイオマスからの水素の製造、超臨界水中における伝熱と化学反応の制御、バイオマスの水熱前処理、水熱炭化、ケミカルヒートポンプ、カーボンナノチューブの応用研究。 Production of hydrogen from biomass using supercritical water; Heat transfer and chemical reactions in supercritical water; Hydrothermal pretreatment of biomass; Hydrothermal carbonization; Chemical heat pump; Application research of carbon nanotube.
	教授 Professor	久保田 徹 KUBOTA, Tetsu	開発途上国における持続可能な開発の実現を目指した建築・都市環境学 Building and urban environmental science for achieving sustainable development in developing world
	教授 Professor	李 漢洙 LEE, Han Soo	再生可能エネルギー資源(風力・太陽光・海洋エネルギー)評価及び管理、沿岸災害および防災・減災のための数値モデル、気候変動による再生可能エネルギー資源・災害変化予測 Renewable energy resource (wind, solar and ocean energy) evaluation and management, Numerical models for coastal hazards, and disaster prevention and mitigation, Evaluation of climate changes impacts on natural hazards and renewable energy resources
	特定教授 Professor, Special Recognition	宮岡 裕樹 MIYAOKA, Hiroki	軽元素で構成される物質の機能性を利用した水素製造、水素貯蔵、アンモニア合成、物質変換技術に関する研究開発。厳密に管理された特殊環境下における試料合成、種々の熱分析、構造評価、分光分析を用いた多角的な物性評価を通じた反応メカニズムの解明。 Research on hydrogen production, hydrogen storage, ammonia synthesis, and material conversion based on functional properties of light elements. Understanding reaction mechanism by original sample synthesis methods and various analyses from wide points of view.
	准教授 Associate Professor	布施 正暁 FUSE, Masaaki	水素を中心としたエネルギー供給システムの社会総合リスク評価手法の開発、低炭素社会とサーキュラーエコノミーを指向した自動車ライフサイクルアセスメント手法の開発、持続可能な地域コミュニティマネジメント手法の開発 Development of a comprehensive social risk assessment method for hydrogen-centered energy supply systems, Development of an automobile life cycle assessment method for a low-carbon society and circular economy, Development of sustainable local community management methods
	准教授 Associate Professor	金田一 清香 KINDAICHI, Sayaka	建築物の省エネルギー技術の開発、特に、ヒートポンプの適用による空調エネルギー削減、地中熱や貯留水等の再エネ熱活用、蓄熱による再エネ需給調整 Development of energy-saving systems in buildings, mainly heat pump systems for air conditioning, utilization of renewable heats such as ground sources and reservoir water sources, and adjustment between renewable power supply and heat demands through thermal energy storage
	准教授 Associate Professor	キム ウキョン KIM, Woogyung	気体および固気混相流体の爆発に関する物理化学、具体的には、カーボンニュートラルを目指した金属粉末燃焼、微小重力燃焼、水素燃焼、水素安全、火災安全に関する研究など Physics and chemistry of explosions in gas-phase or solid-gas-mixed-phase fluids: metal powder combustion for carbon-free energy, microgravity combustion, hydrogen combustion, hydrogen safety, fire safety
Smart Agriculture	教授 Professor	島田 昌之 SHIMADA, Masayuki	哺乳動物の雌雄生殖機構について、分子生物学的に解析している。さらに、加齢、肥満や感染症などが生殖機構に及ぼす影響についての研究も行っている。これらの基礎研究から、生殖能力を高める個体管理法、人工授精や体外受精などの繁殖技術開発も実施している。 Our main topic is a molecular mechanism of reproductive biology in mammals. The effects of aging, obesity and infection on reproductive performance are also our targets. From the basic studies, we are trying to develop a reproductive technology, such as artificial insemination, in vitro fertilization, sperm sexing and so on.

研究領域 Research Area	職名 Position	氏名 Name	研究内容 Research Theme
Smart Agriculture	教授 Professor	西堀 正英 NISHIBORI, Masahide	動物ゲノム情報を利用した哺乳類および鳥類の分子進化、分子系統および分子地理学的な基礎研究を基盤に、在来野生動物の生息、生態を理解し生態系および生物多様性の保全保護に協力し貢献する。ゲノム情報を基に家畜および家禽のドメスティケーションを解明するとともに、在来家畜家禽の環境適応や生産に関わるゲノム領域を明らかにし、スマート農業に寄与する研究を実践する。 Based on the molecular evolution, molecular phylogeny and molecular geography of mammals and birds using animal genome information, we cooperate and contribute to the conservation and protection of ecosystems and biodiversity. Moreover, we elucidate the domestication of animals and poultry from genomic information, clarify the genomic structure related to environmental adaptation and production of native animals and poultry, and practice research that contributes to Smart Agriculture.
	教授 Professor	杉野 利久 SUGINO, Toshihisa	健全な乳生産を目的として、乳牛の周産期飼養管理および哺育管理を栄養学および内分泌代謝学、管理学の視点から研究している。具体的には、成長因子の分泌や作用を促進する栄養素の探索とその応用、暑熱ストレスを軽減する栄養素の探索とその応用などである。また、センシングやIoT技術を活用した飼養管理のデジタルトランスフォーメーションにも取り組んでいる。 Our research focuses on improving dairy nutrition and feeding management for healthy milk production. Especially, I am focused on the relationship between dietary nutrient and growth factor secretion and action, and between dietary nutrient and barn condition (heat stress). And I am also working on the digital transformation of dairy management using sensing and IoT technology.
	教授 Professor	小池 一彦 KOIKE, Kazuhiko	海洋の生物資源の持続的利用のためには、海洋生態系の根幹である微細藻類（植物プランクトン）の理解とマネージメントが必要である。漁業生産の場である沿岸域、サンゴ礁域、マングローブ域等の特色ある海域毎に、彼らの増殖促進による海域の肥沃化に取り組むとともに、一部の有害種が引き起こす赤潮・貝毒等のマネージメントにも取り組んでいる。 For sustainable utilization of marine biological resources, understanding and management of microalgae (single cell algae or phytoplankton) which are the basis of marine ecosystem are necessary. At unique coastal areas such as Seto Inland Sea of Japan, coral reefs and mangrove swamps which are the fields of fishery production, fertilization of the coastal areas is tackled by the multiplication promotion of their growth, and management of red tide and shellfish poisonings caused by some harmful species is also tackled.
	教授 Professor	丸山 史人 MARUYAMA, Fumito	生物が微生物同士や共生宿主、環境とどのように相互作用して生息しているのかの解明を実験・ビッグデータ解析の両面から取り組む。特に、気候変動と微生物(感染症)との関係、居住空間の病原微生物ゲノム動態、大気と水圏の病原微生物・抗生物質耐性に着目している。 Our research focuses on understanding how microorganisms interact with each other, with their symbiotic hosts and with the environment, both experimentally and through big data analysis. Topics includes the relationship between climate change and microbes, genomic dynamics of pathogenic microbes in habitats, and pathogenic microbes and antibiotic resistance in air and water environments.
	教授 Professor	チャン ダン スアン TRAN, Dang Xuan	バイオマスエネルギー技術の開発と途上国への適用 農業生態学及び持続可能な農業技術の開発 Development of biomass energy technologies and application to developing countries Agricultural ecology and development of sustainable agricultural technologies
	教授 Professor	保坂 哲朗 HOSAKA, Tetsuro	熱帯から温帯の森林・農耕地・湿地・都市緑地など様々な生態系における昆虫の多様性や生態学的機能について研究を行っている。また、生物多様性保全の観点から、自然ツーリズムや子どもの自然遊び、野生動物との軋轢など、人間と自然の相互作用に関する研究も行っている。 I have been working on the diversity and ecological functions of insects in various ecosystems including forests, agricultural lands, wetlands, and urban green spaces. Also, I am interested in the interactions between human and nature, such as nature-based tourism, children's nature play and conflicts with wildlife, from the perspective of biodiversity conservation.
	准教授 Associate Professor	若林 香織 WAKABAYASHI, Kaori	水産資源の持続的な利用を実現する社会を目指し、水産有用無脊椎動物の繁殖や成長に関する研究に取り組んでいる。現在は、イセエビ・セミエビ類の繁殖生態や幼生発育について基礎研究および応用研究を実施し、種苗生産技術の開発を目指している。 Our studies focus on reproduction and growth of marine invertebrates towards sustainable uses of fishery resources. Current main project is development of a seed production technique for spiny and slipper lobsters based on the fundamental and applied researches of these animals.
	准教授 Associate Professor	カムランシー タツチヤポーン KUMRUNGSEE, Thanutchaporn	骨格筋幹細胞や筋再生に注目し、老化や糖尿病などによる骨格筋の萎縮を予防する栄養素の役割を研究している。また、栄養素による食欲調節機構の解明も行っており、抗肥満を目指した機能性食品や医薬品の開発も目指している。 I am interested in the roles of nutrients in promoting muscle health and preventing muscle atrophy such as in aging and diabetes, focusing on muscle regeneration and muscle stem cells. My second topic is appetite regulation by nutrients for developing anti-obesity functional foods or drugs.

研究領域 Research Area	職名 Position	氏名 Name	研究内容 Research Theme
Smart Agriculture	准教授 Associate Professor	渡邊 園子 WATANABE, Sonoko	里山生態系の植生・景観生態に関する研究・教育で、幅広い保全問題に取り組む。 -里山景観の地理的分布パターンに関する研究 -里山の生物多様性保全 Research and education on vegetation and landscape ecology of SATOYAMA ecosystems with a wide range of conservation issues. -Geographic distribution patterns of rural landscapes -Biodiversity conservation in SATOYAMA
	助教 Assistant Professor	富永 淳 TOMINAGA, Jun	・光合成の生理生態学 ・作物の健康診断技術開発 ・農林産バイオマスの利用技術開発 ・エネルギー・資源循環型農業 ・Ecophysiology of photosynthesis ・Sensing technologies for plant vital signs ・Utilization of biomass resources in agriculture and forestry ・Energy- and resource-recycling agriculture
	助教 Assistant Professor	藤吉 奏 FUJIYOSHI, So	微生物や生物、それらが生息する環境との相互作用の解明を目指し、フィールドワークや実験、ビッグデータ解析を組み合わせて研究している。特に屋外や生活空間を含めた大気環境と、飲料水などの水環境に生息している微生物との関係に重点を置いて取り組んでいる。 Aiming to elucidate the interactions between microorganisms, organisms, and the environments they inhabit, our research combines fieldwork, experimentation, and big data analysis. In particular, we focus on the relationship between the atmospheric environment, including outdoor and living spaces, and the microorganisms that inhabit the aquatic environment, including drinking water.
	助教 Assistant Professor	グエン ハン クアン NGUYEN, Van Quan	自然物質およびそれらの農業および人間の健康保護への応用に焦点を当て、具体的には糖尿病、肥満、がんなどの慢性疾患の予防に関して研究している。さらに、メタボロミクス研究を行い、さまざまな気象条件や環境圧力下での作物品種の反応メカニズムを解読している。 Our group focuses on researching natural products and their applications in agriculture and human health protections, specifically in preventing chronic diseases such as diabetes, obesity, and cancer. In addition, we conduct metabolomic studies to decode the reaction mechanisms of crop varieties under various weather and environmental pressures.
Global Health and Medical Science	教授 Professor	久保 達彦 KUBO, Tatsuhiko	健康危機管理、災害公衆衛生、健康危機発生時に人々の生命及び健康を救護する社会システムに関する研究、災害医療チームの診療情報管理日報に関する研究 (J-SPEED/WHO EMT MDS) Health Emergency and Disaster Risk Management: Social systems including health policy and health administration to protect health during health emergencies and disasters; Information Management of the Emergency Medical team including the WHO EMT Minimum Data Set/J-SPEED.
	教授 Professor	新福 洋子 SHINPUKU, Yoko	中低所得国の母子保健/ウィメンズヘルス改善のための介入研究 ICT/スマートフォンアプリを活用した教育介入研究 人類学と協働した健康増進のための医療在来知研究 若年妊娠とジェンダー格差を予防する教育支援研究 Intervention study to improve maternal child health/women's health in low-/middle income countries Educational intervention study using ICT/smartphone app Medical local knowledge to promote health in collaboration with Anthropology Educational support to prevent teenage pregnancy and gender inequality
	教授 Professor	浦川 将 URAKAWA, Susumu	リハビリテーション動作時の脳活動計測 運動器の痛みと、リハビリテーション効果の機序解明 動物の豊かな環境飼育に伴う神経生理学的変化の検証 心疾患や糖尿病に伴う骨格筋のミトコンドリア機能障害に対するリハビリテーションの開発 Brain activity during the rehabilitative motor-task How the physiotherapy improves the musculoskeletal functions including the muscular pain The effects of enriched environment on brain plasticity Development of the rehabilitation therapy for skeletal muscle mitochondrial dysfunction with heart failure and diabetes
	教授 Professor	内藤 真理子 NAITO, Mariko	口腔の健康と全身の健康に関する研究 摂食嚥下障害患者および介護者に関する研究 Quality of Life およびPatient-reported Outcome に関する研究 Epidemiological studies regarding associations between oral health and general health Research for dysphagia patients and their caregivers QOL/PRO research
	教授 Professor	加来 真人 KAKU, Masato	メカニカルストレスが骨代謝に及ぼす影響 エレクトロパタログラフィーを用いた構音時の舌と口蓋の接触状況に関する研究 高圧酸素が骨組織の修復に及ぼす影響 Study on tongue-palatal contact using an electropalatography during articulation The effect of mechanical stress on bone remodeling The effect of hyperbaric oxygen on bone remodeling

研究領域 Research Area	職名 Position	氏名 Name	研究内容 Research Theme
Social Innovation Science	教授 Professor	◇ 市橋 勝 ICHIHASHI, Masaru	アジア経済の数量的比較分析, 国際地域経済分析, 産業構造の発展分析, 日本経済論・経済政策論, 経済統計分析論 Quantitative Comparison for Asian Economy, International and Regional Studies of Economy, Analysis for Industrial Development, Japanese Economic System, Economics Statistics Analysis
	教授 Professor	金子 慎治 KANEKO, Shinji	途上国の持続可能な発展に関する研究 アジア地域の環境政策に関する研究 Study on Sustainable Development for Developing Countries Environmental Policy Studies in Asia
	教授 Professor	後藤 大策 GOTO, Daisaku	開発と環境の政策研究のための応用ミクロ経済学 開発と環境経済学におけるフィールド実験 社会・行動変容コミュニケーションのデザインと評価 Applied Microeconomics for Development and Environmental Policy Studies Field Experiments in Development and Environmental Economics Design and Evaluation of Social and Behavioral Change Communication
	教授 Professor	高橋 与志 TAKAHASHI, Yoshi	人的資源開発・管理論, 技術経営論, 中小企業経営論 Human Resource Development / Management, Management of Technology, Management of Small and Medium-sized Enterprises
	教授 Professor	シャリフィ アユーブ SHARIFI, Ayyoob	都市計画及び都市政策, 環境計画及び環境管理, 気候政策, スマートシティ, 持続的な都市 Urban Planning and Policy Development, Environmental Planning and Management, Climate Policy, Smart City, Sustainable Cities
	准教授 Associate Professor	ジョシ ニラス プラカシュ JOSHI, Niraj Prakash	農業経済学, 変化する気候の下での農業, 革新的な農場慣行の採用, 発展途上国における貧困と農村開発 Agricultural Economics, Farming under Changing Climate, Adoption of Innovative Farm Practices, and Poverty and Rural Development in Developing Countries
	准教授 Associate Professor	シマンガン ダリア コリヤド SIMANGAN, Dahlia Collado	国際関係論, 平和構築理論, 国連平和構築活動, 平和と持続可能性の連携, 人新世 International Relations Theory, Peacebuilding Theory, United Nations Peacekeeping Operations, Peace-Sustainability Nexus, Anthropocene
	准教授 Associate Professor	近藤 雅征 KONDO, Masayuki	気候変動対策評価, 温室効果ガス動態解析, 熱帯地域における土地利用変化研究, 地球の気候調整に関する理論研究。モデルシミュレーション, リモートセンシング, さまざまな統計データを駆使し, 上記の研究を国, 亜大陸, 全球などの広域スケールで行っている。 Evaluation of climate change countermeasures, analysis of greenhouse gas dynamics, land use change research in tropical regions, and theoretical research on Earth's climate regulation.
	助教 Assistant Professor	ハーン グラム ダスタギール KHAN, Ghulam Dastgir	開発政策の社会・経済的インパクト評価 Social and Economic Impact Assessment of Development Policies.
	助教 Assistant Professor	カロ バーネット ヨハン CARO-BURNETT, Johann	政治経済, 投票行動, 国際協定, 平和と紛争 行動経済学, 実験経済学, 開発経済学 Political economy, voting behavior, international agreements, peace and conflict Behavioral economics, experimental economics, development economics
助教 Assistant Professor	西條 春信 SAIJO, Harunobu	比較政治, 歴史的な政治経済, 権威主義の政治学 Comparative Politics, Historical Political Economy, Authoritarian Politics	
助教 Assistant Professor	ミCHELL オースティン MITCHELL, Austin Michael	民主主義と独裁, 政府予算と財政, 開発の政治経済学, 平和と紛争 Democracy and dictatorship, government budgets and finance, political economy of development, peace and conflict	

注1) △印は、2025年4月・10月入学者の標準修業年限内である2026年3月に、◇印は2025年10月入学者の標準修業年限内である2027年3月に退職等が予定される教員であるので、この教員を指導教員として志願する者は、出願時にスマートソサイエティ実践科学研究院(国際協力学系支援室)に問い合わせること。

注2) 募集する指導教員が異動等により変更になることがある。その場合には、スマートソサイエティ実践科学研究院ホームページに掲載するので、相談前にあらかじめホームページを確認すること。
ホームページ(日本語) https://www.hiroshima-u.ac.jp/smart_society/admission

Note 1: △ mark indicates professor who is scheduled to retire in March 2026 (within the standard completion period for those who are enrolled in April and October 2025) and ◇ marks indicate professors who are scheduled to retire in March 2027 (within the standard completion period for those who are enrolled in October 2025). If you wish to study under the supervision of those professors should contact Support Office for the fields of International Development and Cooperation beforehand.

Note 2: "List of Members" is subject to change due to personnel changes. In this case, you will be informed via the HP of Graduate School of Innovation and Practice for Smart Society. Therefore, please confirm the HP before consulting with a professor.
HP (English) https://www.hiroshima-u.ac.jp/en/smart_society/admission